

曹洞宗 天祐山 公田院 仁叟寺

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

⑨ 第28回子供禅の集い
日程が下記予定表の通り
決定いたしました。宜しく
お願い申し上げます。
対象：小学校3年～6年生

平成21年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈祷・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 祚尊涅槃会
- 3/8 大般若・大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17～3/23 春季彼岸会
- 4/8 祚尊降誕会(花祭り)
併修携帯供養
- 7/13～7/16 京浜地区檀信徒棚経
- 7/29～7/30 第28回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 孟蘭盆会
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- 10/17 檀信徒参拝研修旅行
- 12/8 祚尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日
梅花講・琴教室・華道教室
- ※宗務所執務日は月水金曜

仏像修復計画

仏像修復については、当寺報「山雲水月」や総代人世話人合同会議等に於きました、再三報告して参りました（仏像の詳細は、『仁叟寺誌』296～299頁、322～340頁に記載されています）。

総代人世話人54名の役員にて、修復計画の原案を示したらどうか、との意見を頂戴しました。

一年半以上をかけて、総代会議を五回、また総代人世話人合同会議を三回開催。平成19年3月に仏像研修会、同年10月には仁叟寺の文化財展も開催するなどの協議検討を重ねた結果、本年より修復計画を実行することとなりました。仁叟寺本尊様祚迦如来坐像は、当寺の信仰の原点であり、室町時代の大永2年（1522）神保移転以来、本堂に500年間本堂に鎮座し、多くの人々を永い間見守り、やすらぎを与え、ご先祖様を守り続けてこられました。

平成17年に仏教造形研究所を中心とし、吉井町教育委員会などの全面的なご協力を賜り行われました大規模な仏像調査の折、本尊祚迦如来坐像は中世作、つまり仁叟寺創建当時から伝わっているご尊像に相違ないとの報告を受けました。江戸時代初期（元禄期）及び昭和16年、平成19年など時代時代に併せて修理を施し、修復を続けつつ、引き継いで参りましたが、今回の調査により部品の欠損・破損・箔の剥落・膠（にかわ）の剥離による全体の緩み等が多々発見されました。以来、寺では早期の修復をすることを発願し、その修復計画について寺報「山雲水月」紙上、また総代会及び役員会などで1年半の時間を掛け慎重に討議を重ねて参りました。その間にも、600年前奥平時代の旧本尊薬師如来立像はじめ他のご尊像の修復も、功德施主各位のご協力賜り、併せて他の尊像6体修復も行わせていただきました。今回は、500年間受け継がれて参りました仁叟寺の象徴ともいえる本尊様及び脇侍様二体の修復であり、檀信徒はもちろんご縁のある方々にも広くご協力いただき、この修復事業が無事圓成することをお願い申し上げます。この本尊様修復は、世の中を救う一條の光明となると信じます。

あなん
阿難尊者像かしょう
迦葉尊者像

けいたいくよう

携帯供養を花祭りに行います

ご存知の通り来る4月8日（水）は釈迦降誕会（花祭り）でございます。例年、釈迦誕生図を本堂に掲げ、甘茶を釈迦誕生像に掛ける行事を行っております。當寺の釈迦誕生図は町指定重要文化財でもあり、今からおよそ320年前の貞享2年（1685）に作成されました貴重な画幅であります。

今回、そのお祝いの行事に合わせ携帯供養を執り行うご案内を申し上げる次第です。

携帯供養とは聞き慣れない言葉ですが、恐らく全国初の供養であるかと思われます。當山では例年、筆塚にて筆供養や関係者依頼の人形供養などを営んでおります。針供養などといった行事も然りであります。お世話になったモノに感謝し、報恩の念を捧げる行事であります。今や携帯電話はじめパソコンやデジカメといった電子機器は生活必需品となり、そのモノによって我々の思いが一喜一憂するほどのツールとなっております。その思いがこもった携帯電話等電子機器に対しての報恩の供養を行じるのはもちろん、この度の携帯供養には環境及び資源活用、モノを大切にする心を養うといった側面も加わります。

携帯電話やデジカメ・パソコン・ゲーム機といった電子機器の基盤部には、希少金属が多く含有され、いわゆるレアメタルの宝庫であると云われております。それらは「都市鉱山」と称され、下記図の通りの埋蔵量を有します。もし、日本国内に流通している電子機器のリサイクルが可能であれば（その種類にも依りますが）今現在産出されている量の半数以上を賄うことが出来、無資源国日本が希少金属の資源大国になりうると云われております。特に希少金属は中国・アフリカなど世界でも一部の地域でしか産出することが出来ないとのことです。残念ながら、未だ法整備がなされておらず、貴重な資源が捨てられているのが、今の現状であります。

この度、東京に本社があるDOWAホールディングス株式会社の吉川廣和会長（群馬県箕郷町出身）とこの件にご縁を結ぶ機会に恵まれました。同社は、上場一部の企業であり、環境事業に於いては世界でも指折りの技術を有する企業であります。その会社のご協力ご賛同を得、今回の法要を修行することとなりました。

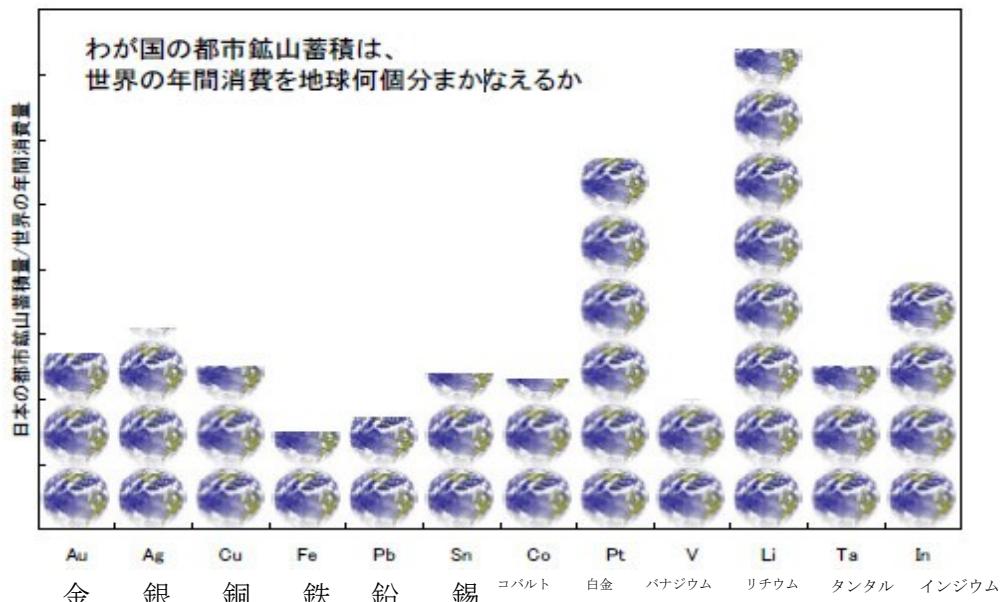
つきましては、携帯供養の行事を勤めさせていただく予定になりました。法要に先立ちまして、不要になった携帯電話始め電子機器を集めたく、檀信徒の皆様はもとより、親戚・同僚・知人友人等多くの方々に声を掛けなければと思っております。今月のお彼岸をはじめ、當寺に来られた際に、持参していただければありがとうございます。

今回の法要を機に、モノに大切にし感謝をする心を涵養する事はもちろん、貴重な資源を活用し、環境問題に対して関心を持っていただければ幸いです。尚、個人データ管理には、くれぐれもご注意下さい。寺でも最善の方法をとらせていただくつもりです。

何卒宜しくご理解ご協力の程お願い申し上げ、ご都合宜しければ法要にご臨席賜れば幸甚に存じます。



↑花祭り（住職による説明）



てんぐう

天宮の井戸改修報告

昨年12月に天宮の井戸の改修を行いました。立看板の文章を紹介いたします。

「当寺開山以来の寺の水源で天宮の井戸と呼ばれている。山門横の井戸と合わせ当山水脈の二井戸である。永き間、日照り干ばつや戦時中大勢の学童疎開在山中も、一度も枯れることなく文字通り脈々と水を護持してきた。

昭和四十年代まで使用。以後蓋をして保持してあったが平成二十年に再調査と水質資源調査をし今の形に復元する。右の水道はこの井戸水であり、まさに浄水



↑改修された天宮の井戸・井戸の内部の様子↑

あります。平成二十年師走 当山三十一世啓司代」

なお、水質調査結果は極めて良好。清水坂という地名が近辺にある通り、現在も浄水は絶えることなく滾々と湧き出しております。

各種行事報告

恒例の行事であります昨年大晦日の除夜会、本年2月3日の大節分会、共に務めさせていただきました。両行事共に大勢の参詣者がご来寺されました。運営に当たって寒さ厳しい中、ご尽力いただきました総代人世話人各位及び関係者の皆様に感謝申し上げます。

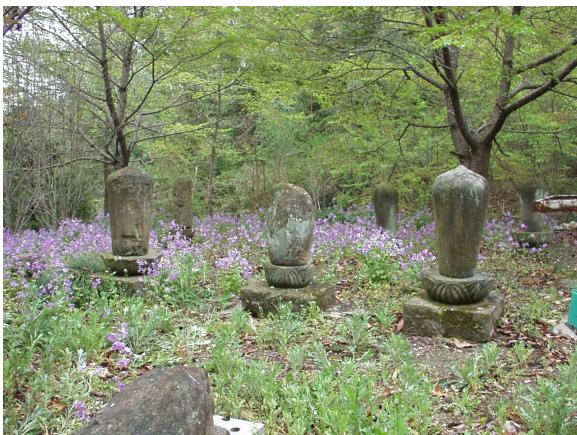
また大節分会には、スリランカ僧のシイラ師、齋藤軍雄吉井町長、寺本欣一サンコー社長など来賓の方々も見えられました。ありがとうございました。

これからも地域の伝統文化行事として続けていければと思っております。



↑今年の大節分会の様子

仁叟寺探索-20- 八束観音寺跡



↑八束観音寺跡地

今回の探索では、明治期に廃寺となった八束観音寺跡地を紹介いたします。

仁叟寺末寺は9ヶ寺ありました。八束観音寺は、中世以前からこの地に祠があったと伝わっておりますが、江戸初期に仁叟寺八世天威大祐大和尚が開山となり創建されました。かつては弟子も多数在山し、祈祷寺の側面も兼ね備えていたようです。残念ながら明治期の廃仏毀釈及び二度に亘る火災の為、廃寺となりました。

本尊様である著名な千手觀音菩薩像は現在仁叟寺本堂内に安置され、新上州觀音靈場・南毛觀音靈場などにも指定され参拝者が絶えません。

観音寺跡地は吉井町八束（現在も寺領は大字神保の飛地です）の鬱蒼とした山中に現在も遺されております。

平成20年度 寄附者一覧 (敬称略)

地域	氏名	寄付品物	
本郷	高橋 勝夫	坐禅堂本尊文殊菩薩像修復代	
		山門下石製椅子二台	
高崎	小菅 伸治	中古軽自動車一台	
東京	齋藤 良太郎	高級皮雪駄二足	
甘楽	山口 耕一	大型卒塔婆立一基	
安坪	金田 悅弥	紅白梅苗木	
多胡	神保 武長	坐禅堂本尊文殊菩薩像修復代	
吉井	井上 隆	縮緬改良衣	
高崎	篠原 敏子	陶器製觀音菩薩立像	
多胡	井上 輝志	寺紋入金銀綴香台掛一組	
塩	金田 隆男	寺紋入金銀綴香台掛一組	
東谷	酒井 忠夫	坐禅石(天竜石)	
東谷	寺尾 計司	鳳寿堂本尊阿弥陀如来立像及び厨子修復代	
多胡	齋藤 将聰		
吉井	三木 正美		
吉井	櫛島 光治		
東京	落合 里江		
奥平	矢島 正義	本尊様修復代	
一	新盆檀信徒	夏用大衣	
		檀信徒会館北廊下絨毯張替	
高崎	櫻井 哲	アルミ製墓参心得掲示板三基	
吉井	森 悅志	本尊様修復代	
中島	森 啓二	天宮井戸修復工事費	
吉井	森 悅志		
多胡	大塚 康男		
吉井	大澤 竹治		
横浜	長井 弘	本尊様修復代	
兵庫	原 一美	本尊様修復代	
多胡	神保 健一	本尊様修復代	
多胡	志賀 一夫	米沢山	
神保	神保 勇男	米沢山	
小暮	渡辺 和夫	米沢山	
吉井川	新井 徳衛	米沢山	
多比良	桑子 正治	米沢山	

行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

今年4月より新規開園する吉井町小暮の「めざめ保育園」の理事を拝命いたしました。長男・次男も通園予定です。同園は、全林寺ご住職様が理事長を、副住職様が園長を務めます。

さて、記事中にもありますように、4月8日花祭りに携帯供養を修行させていただく予定です。この機に不要になりました携帯・パソコン・デジカメ・ゲーム機等がございましたら是非当寺までお願い申し上げます。供養を通じモノに感謝し大切にする心、更には環境資源問題にも関心を持っていただければ幸いです。（副住職記）

